

令和4年3月16日

報道関係 各位

公立大学法人 名古屋市立大学
事務局大学管理部学生課
課長 藤井 章
電話 052-853-8019

令和4年度名古屋市立大学一般選抜（後期日程）における試験問題について

令和4年3月12日（土）に実施いたしました、令和4年度名古屋市立大学一般選抜（後期日程）総合生命理学部（理科[物理]）の試験問題において、試験実施後の確認の結果、以下のことが判明いたしました。

1 該当する問題と内容

理科[物理] 物理問題2 (5)、(6)、(7) [配点(5)、(7)各3点 (6)5点]

設定した条件をもとに数値を解答する問題において、条件が不足していたため、受験者が正答を導き出せない可能性があったもの。

【具体的内容】

(5)のリード文「次にスイッチ1およびスイッチ2を閉じたまま、導体板1および2をコンデンサーの中から完全に引き抜いた。」について、出題の意図は「導体板1と2を引き抜いた後、コンデンサー1と2の電気量をともに0（最初の状態）にしてからスイッチ1と2を閉じた。」という状況を想定していたが、実際には、導体板を抜いたあともコンデンサー1と2に蓄えられている電気量は0にならず、合成容量を決定することはできない。従って、このリード文に関連した(5)～(7)は正答を導き出せない可能性があるもの。

【当該問題の受験者数】

32名

2 対応

当該問題について全員を正解としました。なお、この取扱いにより理科選択科目（物理、化学、生物）間で不利益が生じないよう、分位点差縮小法により選択科目間の得点調整を行い、当初の予定どおり令和4年3月22日（火）に合格発表を行います。

以上、ご報告するとともに、受験者はじめ関係者の皆様に大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。今後はこのような事例が発生することないように、厳正、厳密に出題内容の確認とチェック体制の強化を徹底いたします。